

令和元年度 学校関係者評価報告書

田中千代学園

学校関係者評価委員会

令和元年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員会開催状況

- | | | | |
|--------|--------------|-----------------------------------|-------|
| 第1回委員会 | 令和元年12月6日(金) | 13:30~15:00 | 本校会議室 |
| 第2回委員会 | 令和2年2月7日(金) | 13:30~15:30 | 本校会議室 |
| 第3回委員会 | 令和2年3月6日(金) | 新型コロナウイルス感染拡大のため、
資料郵送による意見収集。 | |

2. 報告事項

渋谷ファッション&アート専門学校「自己評価中間報告書」を評価委員会で評価し、その結果を踏まえ

「令和元年度自己評価報告書」を完成させることとした。

以下にその「最終報告書所見」を記すこととする。

[令和元年度自己評価報告書所見]

本校の創設者・田中千代による「美しい花には健全な根がある」という理念の下、しっかりとした基礎力をもとに個性を開花させる教育を目指してきた。その結果、長年にわたりアパレル業界を支える多くの卒業生を輩出してきた。しかしながら、本校の幹である服飾専門課程の教育がアパレル産業の海外生産に伴いパラダイムシフト化していることを認識し、早急にその対策を決めることが最大の課題となった。

その結果、新たに加えられた文化専門課程はその成り立ちや状況を踏まえつつ、美術大学や趣味の習い事などと立場を明確にすることが重要である。

基準 1 教育理念・目的・育成人材像：

教育理念・目的・育成人材を明らかにし、教育活動に専心して行くと同時に、常に社会のニーズに適合してゆくことが学校存続には不可欠なことである。

基準 2 学校運営：

少子化、産業構造の変化、母子家庭の増大による経済環境の変化などへの対応や運営経費、学校の財産に鑑みた収益事業の見直しを検討することとする。

基準 3 教育活動：

理念に基づく育成人材像を明示し、教職員はそれを共有し、具体的な行動で指導してゆくことが必要である

基準 4 学習成果：

入学者に対する就職率は 90%以上で推移し、アパレル業界への就職率は 100%を維持している。今後ともさらに「専門性を身につける実学教育」の観点から就職活動に有効な資格取得を積極的に支援する。

基準 5 学生支援：

進路・就職、経済、相談事、健康問題など、学生のニーズに沿った支援体制を組んで行けるよう努める必要がある。

基準 6 教育環境：

施設・設備・機器類などの物的環境はもとより学外学習、インターンシップ、海外研修など行動的環境整備もカリキュラムに組み込み引き続き実施する。

基準 7 学生の募集と受け入れ：

高等学校に対する説明会やオープンキャンパスを実施し丁寧に対応することはもとより、近年では各種 WEB ツールに対応した体制作りが不可欠である。

学生に求める学習成果を示し、そのためどのような人材を入学させるかを明示すること。

基準 8 財務：

少子化現象等による入学志願者の減少から学校経営が赤字体質進行中であるため、昨年度より新たに文化専門分野を設置し収入増加を図っている。入学者増に繋がるさらなる方策検討が急務である。

基準 9 法令等の遵守

学校教育法、専修学校設置基準他関係法令等を遵守し、学校運営を行うよう努める。

基準 10 社会貢献・地域貢献

学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献の可能性を考える。特にクリエイティブ性のある貢献は学校名の認知や学生自身の社会性を養い、就職活動においても大きな効果があるため大いに奨励したい。

以上